

今後の住宅施策の方向について（答申）の体系

大阪市全体のめざす方向性（大阪市未来都市創生総合戦略）

一人ひとりが多様な幸せ(Well-being)を実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現

基本認識

住まいは、幸せな市民生活の基礎であり、まちを構成する主要な要素でもある

※ 2050年を見据えた住宅政策の方向性と今後10年間に取り組むべき施策

住宅政策の基本目標

選ばれるまち大阪、次代につなぐ人と住まい

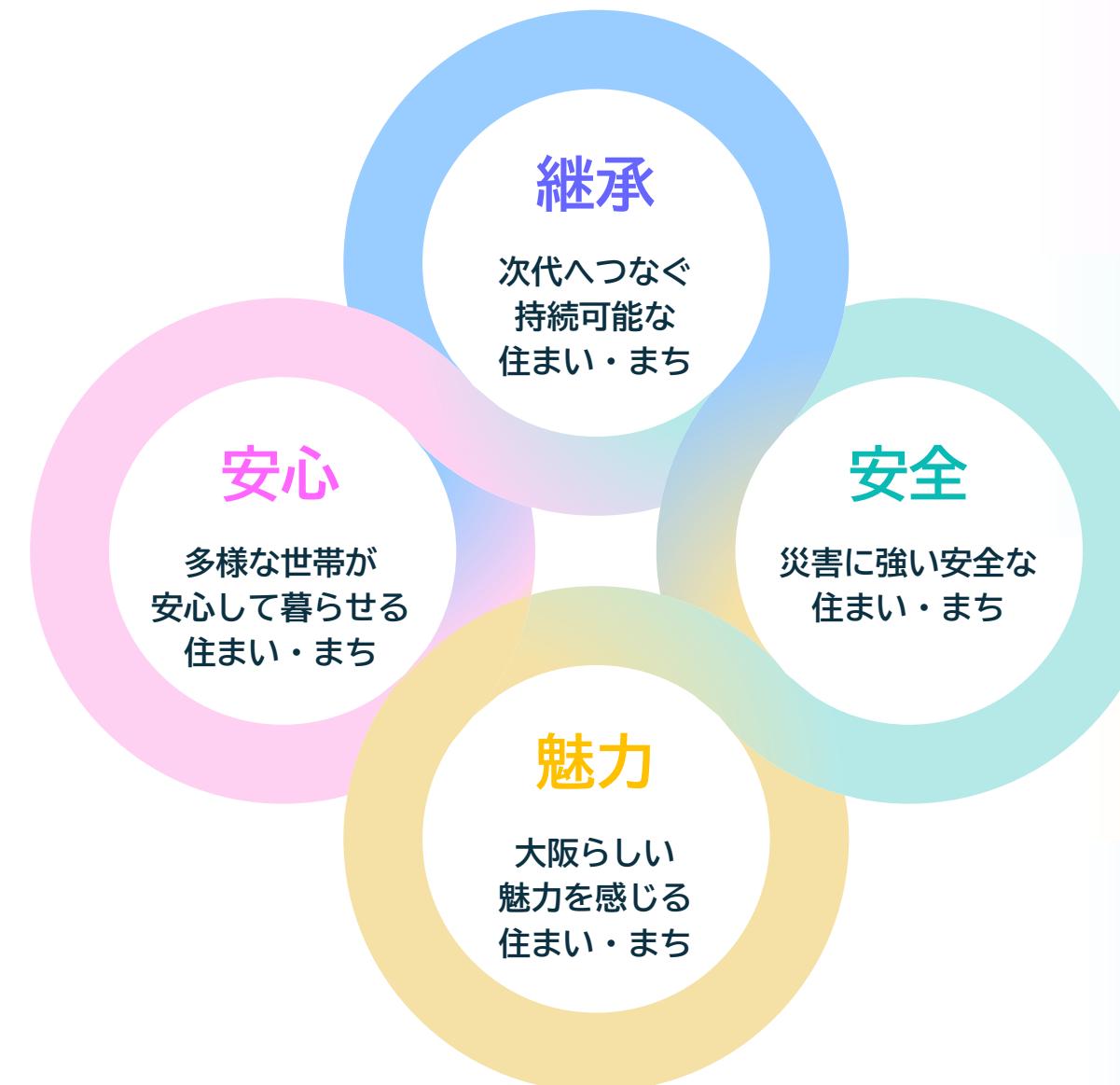
～多様な幸せを実感できる、住み続けたい住まい・まちをめざして～

住宅政策を取り巻く現状と課題

- 少子高齢化の進行と人口減少社会の到来
 - ・将来的な人口・世帯数の減少
 - ・少子高齢化の一層の進行
 - ・依然として続く子育て世帯の市外転出傾向
 - ・都心区での人口増加と周辺区での人口減少
- 住宅セーフティネットの必要性の高まり
 - ・単身世帯、高齢者世帯の増加
 - ・住宅確保要配慮者の居住ニーズの高まり
 - ・国や法制度の動向
 - ・市営住宅入居・管理の状況
- 住宅ストックの維持管理や再生・活用をめぐる課題の深刻化
 - ・総住宅数・空家の増加
 - ・住宅価格の高騰と住宅のアフォーダビリティの確保
 - ・高経年マンションの急増
 - ・活性化が求められる既存住宅の流通・活用
 - ・市営住宅ストックの状況
- 求められる住まいとまちの安全確保
 - ・頻発化・激甚化する災害
 - ・一定残る耐震性の不十分な住宅
 - ・密集住宅市街地整備の進捗と残る課題
- 「住むまち」大阪の多様な魅力の再認識
 - ・活かすべき大阪の魅力
 - ・地域の活力を担う多様なプレイヤー
 - ・地域コミュニティの希薄化
 - ・居住環境に対するイメージの向上

住宅政策の基本的な方向性

（めざす住まい・まちの姿）



施策展開にあたっての視点・姿勢

- 新たな社会潮流への対応
 - ・脱炭素社会の実現に向けた取組の重要性の高まり
 - ・大阪・関西万博を契機としたSDGsや健康への意識の高まり
 - ・デジタル技術の進展、都市・まちDXの推進
 - ・ライフスタイルや価値観の変化
 - ・人生100年時代に必要な住まいのリテラシー

持続可能性につながる施策展開

- ・人口構造の変化を見据えた施策展開
- ・ストック重視の施策展開
- ・脱炭素社会の実現に向けた住宅施策の役割

社会潮流への対応と新たな視点の導入

- ・先導的かつ柔軟な施策展開
- ・新たな視点の積極的導入
- ・既存施策の検証と施策の重点化・再構築

大阪らしさを活かした施策展開

- ・大阪ならではの地域の魅力・価値の再認識
- ・地域の特性や課題に応じた施策展開
- ・大阪・関西万博を契機とした更なる発展

公民にわたる多様な主体との連携・共創

- ・地域で活躍する多様な主体との連携
- ・施策間連携による住宅施策の有効性の発揮
- ・深刻化・複合化する地域課題の的確な把握
- ・国や大阪府の住宅政策との連動

魅力ある広報と発信力の強化

- ・魅力的かつ効果的な「伝わる広報」への転換
- ・ブランディングを意識した「戦略的な広報」の展開

安心

安全

魅力

継承